

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【公表番号】特表2018-506990(P2018-506990A)

【公表日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-010

【出願番号】特願2017-546911(P2017-546911)

【国際特許分類】

A 01 K 15/02 (2006.01)

【F I】

A 01 K 15/02

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月29日(2019.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動物訓練補助具、玩具または装置に使用する匂い付き挿入物であって、
基材であって、前記基材の上におよび／または前記基材の中に、マイクロカプセル封入
された匂い付き材料を有する基材、

前記基材上の匂いに対して実質的に不透過性であるコーティング、および

前記匂い付き挿入物用のキャリア中で前記挿入物の方向を合わせるように操作可能な少
なくとも1つの戻り止め、を含み、かつ

前記匂い付き材料が、前記挿入物が不活性状態にあるとき、動物にとって望ましい匂い
を実質的に放出せず、前記挿入物が活性状態にあるとき、前記動物にとって望ましい匂い
を放出する、匂い付き挿入物。

【請求項2】

使用の際、前記匂い付き挿入物が、前記コーティングを摩滅することにより活性化され
て、前記マイクロカプセル封入された匂い付き材料から匂いを放出する、請求項1に記載
の匂い付き挿入物。

【請求項3】

前記匂い付き材料が、前記基材の表面の少なくとも一部に被覆されている、請求項1ま
たは2に記載の匂い付き挿入物。

【請求項4】

前記匂いが、フェロモン、肉、卵、乳製品、野菜または果実の匂いの少なくとも1種を
含む、請求項1ないし3のいずれか一項に記載の匂い付き挿入物。

【請求項5】

前記コーティングが、高分子材料を含む、請求項1ないし4のいずれか一項に記載の匂
い付き挿入物。

【請求項6】

前記基材が、多孔質材料を含む、請求項1ないし5のいずれか一項に記載の匂い付き挿
入物。

【請求項7】

前記少なくとも1つの戻り止めが、前記キャリア中における前記挿入物の動きを抑制す
る、請求項1ないし6のいずれか一項に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 8】

前記少なくとも1つの戻り止めが、前記挿入物の周辺部から伸びている、請求項1および7のいずれか一項に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 9】

前記少なくとも1つの戻り止めが、前記キャリア中に配置されたとき、前記挿入物の回転運動を抑制する、請求項1ないし8のいずれか一項に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 10】

前記挿入物が、ディスクの形態にある、請求項1ないし9のいずれか一項に記載の匂い付き挿入物。

【請求項 11】

少なくとも1つの戻り止めが、前記ディスクの周辺部から半径方向に伸びている、請求項1ないし10に記載の匂い付き挿入物。